

こどもの本のひろば

こどもの本のひろば

昨年度に引き続き、子供たちも参加していただける「こどもの本のひろば」を開催しました。今年度は北本市子ども文庫連絡会と北本子どもの本を楽しむ会の皆さんにご協力いただき、おすすめの本の展示と、おはなし会を開催しました。

【本のひろば】

北本市立中央図書館、北本市立こども図書館と、上記2団体の皆さんが作成した冊子『このほんよんで』に掲載されている本を展示しました。『このほんよんで』は、赤ちゃんから中高生までを対象に、長く読み継がれているお薦めの本を紹介しています。

展示されている『だるまちゃん と てんぐちゃん』の絵本を手にとって、「懐かしい！」と歓声をあげる大学生や、親子で絵本を楽しんでいた方もいました。

また会場では『このほんよんで』を来場してくださった方に配布いたしました。皆さんがご自宅で本を選んで、楽しんでいただけていると思います。



【おはなし会】

11:00、12:00、13:00、14:00、15:00の計5回、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをする「おはなし会」を開催しました。

『どろんこハリー』や『アンガスとあひる』

など、大人も子供も一緒に本を楽しむ時間となりました。

また、『風の神と子ども』『腰折れすずめ』などの昔話は、「絵」はなくても、骨太なストーリーと語り手が、お話の世界に引き込んでくれました。残念ながら、子供たちの参加より、大人の参加が多かったのですが、お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんと世代を越えて参加してくれた方もいらっしゃいました。



【おわりに】

今回「本と子供を結ばなきゃ！」というご意見をいただき、北本市の文庫や子どもの本を楽しむ会の皆さんのお力で、本の展示が出来ました。

埼玉県内には、こうした文庫活動を长年続けている方々がたくさんいらっしゃいます。北本市の図書館の皆さんにも、ご協力いただきました。

来年も、子供たちが参加できる「図書館と県民のつどい」になるよう、たくさんの方々と連携して開催できればと思いました。

本のひろば入場者

大人：251人

子供：35人 合計286人

うち、おはなし会参加者

大人：55人

子供：17人 合計72人

(記録：埼玉県立久喜図書館 高野 治子)